

入試案内・日程

学校経営コース		教職実践コース	
入学定員	6人	4人	
区分	現職教員等選抜	一般選抜	現職教員等選抜
対象者	日本の教育職員免許状を取得し、かつ、次に掲げる者 学校教育法第1条に定める学校あるいは、教育公務員特例法第2条に規定する専門的教育職員として現に在職している者 で、かつ、平成31年4月1日現在で10年以上の教職経験（非常勤・臨時講師等を含む）を有する者又はそれに準ずる社会経験を有すると認められる者	教育職員免許状（一種）を取得（見込みを含む）している者	日本の教育職員免許状を取得し、かつ、次の各号の一に掲げる者 1 学校教育法第1条に定める学校あるいは、教育公務員特例法第2条に規定する専門的教育職員として現に在職している者で、かつ、平成31年4月1日現在で3年以上の教職経験を有する者 2 平成31年4月1日現在で、学校教育法第1条に定める学校において通算3年以上の教職経験（非常勤・臨時講師等を含む）を有する者
選抜方法	書類審査・口述試験	論述試験・口述試験	書類審査・口述試験
学位	教職修士（専門職）	教職修士（専門職）	
取得できる教員免許状	取得している教員免許状を基礎とした 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の専修免許状	取得している教員免許状を基礎とした 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の専修免許状	
区分	第1次募集	第2次募集	第3次募集
出願期間	平成30年9月10日(月)～9月14日(金)	平成30年11月12日(月)～11月16日(金)	平成31年2月18日(月)～2月22日(金)
試験日	平成30年10月13日(土)	平成30年12月15日(土)	平成31年3月14日(木)
合格発表	平成30年10月23日(火)	平成30年12月21日(金)	平成31年3月18日(月)

※募集人員に満たない場合は、第3次募集まで実施する予定です。
※第2次、第3次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認して下さい。



大分大学ホームページ 大学院入試
http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html

研究科長メッセージ



古賀 精治 教育学研究科長

近年、社会が大きく変動する中で、学校教育が抱える複雑・多様化する諸課題に対応しうる高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員が求められています。このため、教員養成教育の改善・充実を図るべく、高度専門職業人養成として教員養成に特化した専門職大学院として創設されたのが「教職大学院」です。教職大学院は地域の教育課題を向き合い、学び続ける教員を育成するとともに支援していきます。

教員紹介

学校経営コース

山崎 清男 特任教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教育経営学、教育行政学
- ▶担当科目：「学校マネジメントの実践研究1」「学校間連携・地域連携の実践研究」等

福本 昌之 教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教育経営学、学校組織論
- ▶担当科目：「学校組織マネジメントの実践演習」「学校危機管理の理論とプログラム開発」等

大島 崇 准教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教育方法学、教師教育論
- ▶担当科目：「教員の社会的役割と自己啓発」「校内研究に関する理論とプログラム開発」等

雪丸 武彦 准教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教育行政学、教育経営学
- ▶担当科目：「教育法規の解釈・運用に関する実践研究」「学校間連携・地域連携の実践研究」等

有定 裕雅 教授（実務家教員）

- ▶専門分野：学校経営、学校管理
- ▶担当科目：「教育課程編成の理論と実践」「学校危機管理の理論とプログラム開発」等

小池 一彦 特任教授（実務家教員）

- ▶専門分野：学校経営、教育行政
- ▶担当科目：「教職員の人材育成に関する理論とプログラム開発」「教員のための人権教育の理論と方法」等

教職実践コース

森 才三 教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教科教育学、社会科教育
- ▶担当科目：「特色あるカリキュラムづくりの理論と実践」「教材開発演習」等

今村 裕 教授（研究者教員）

- ▶専門分野：学校心理学、教育相談
- ▶担当科目：「学校カウンセリング・コンサルテーションの実践研究」「子ども支援の実践研究」等

竹中 真希子 教授（研究者教員）

- ▶専門分野：教育方法学、科学教育
- ▶担当科目：「授業の指導計画と教材研究の演習」「教育課程編成の理論と実践」等

古庄 一夫 准教授（実務家教員）

- ▶専門分野：特別支援教育
- ▶担当科目：「すべての個性を活かす教育環境の構成」「子ども支援の実践研究」等

立川 研一 准教授（実務家教員）

- ▶専門分野：学習指導
- ▶担当科目：「授業の指導計画と教材研究の演習」「授業分析演習」等

牧 英治郎 准教授（実務家教員）

- ▶専門分野：生徒指導
- ▶担当科目：「子どもを活かす学級経営の実践演習」「安心して成長できる学校環境づくりの探求」等

大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻

教職大学院



学校経営コース（入学定員 6人）

次世代の**スクールリーダー**を養成します！

教職実践コース（入学定員 4人）

教職の**プロフェッショナル**を養成します！

教育学研究科ホームページ
http://www.ed.oita-u.ac.jp/inn/



国立大学法人
大分大学

所在地：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
問い合わせ先：097-554-7511（教育学部学務係）



国立大学法人

大分大学

教職大学院のカリキュラム

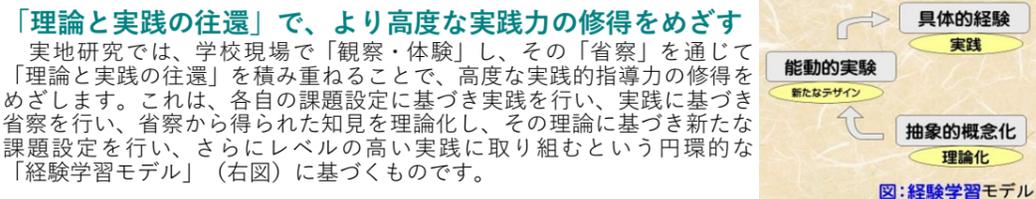
学校経営コース		
目指す教員像 ●学校改善に向けて、リーダーシップを発揮し、学校組織を機能させることができる経営力を持ったスクールリーダー ●学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のような新しい学校づくりにおいて必要とされる家庭や地域との連携力を持ったスクールリーダー		
コース科目（18単位）		
学校マネジメント	組織としての危機管理とネットワーク	教職員の職能開発
学校マネジメントの実践研究1	学校危機管理の理論とプログラム開発	教職員の人材育成に関する理論とプログラム開発
学校マネジメントの実践研究2		校内研究の理論とプログラム開発
教育法規の解釈・運用に関する実践研究	学校間連携・地域連携の実践研究	
省察科目 学校マネジメント研究（4単位）		
実習科目（10単位）		
1年次	学校経営実地研究Ⅰ（2単位）	学校経営実地研究Ⅱ（3単位）
2年次	学校経営実地研究Ⅲ（5単位）	

教職実践コース		
目指す教員像 ●知識・技能を活用する学習活動、課題探究型の学習、協働的な学びなど、新しい学びをデザインできる実践的指導力を持った新人・中堅教員 ●学校内外の人的資源を活用しながら、組織的に子どもたちの自己指導力を育成することができる実践的指導力を持った新人・中堅教員		
コース科目（18単位）		
教科等の教材開発、授業改善	人間形成・発達援助	現代的な教育課題への対応
教材開発演習	すべての個性を活かす教育環境の構成	大分県における教育課題の探求
授業分析演習	学校カウンセリング・コンサルテーションの実践研究	
ICT活用実践演習	安心して成長できる学校環境づくりの探求 自立した個を育てる教育活動の実践	
省察科目 教育実践研究（4単位）		
実習科目（10単位）		
1年次	学校実践実地研究Ⅰ（2単位）	学校実践実地研究Ⅱ（3単位）
2年次	学校実践実地研究Ⅲ（5単位）	

共通科目（20単位）				
教育課程の編成及び実施	教科等の実践的な指導方法	生徒指導及び教育相談	学級経営及び学校経営	学校教育と教員の在り方
教育課程編成の理論と実践	授業の指導計画と教材研究の演習	子どもの問題行動や規範意識に関する事例分析	学校組織マネジメントの実践演習	教員の社会的役割と自己啓発
特色あるカリキュラムづくりの理論と実践	授業での学習支援と指導法に関する事例分析	子ども支援の実践研究	子どもを活かす学級経営の実践演習	教員のための人権教育の理論と方法

教職大学院の実習（実地研究）

- 連携協力校**
- 小学校**
 - 大分市立竹中小学校
 - 大分市立判田小学校
 - 大分市立駕野小学校
 - 大分市立金池小学校
 - 別府市立山の手小学校
 - 日出町立日出小学校
- 小中一貫教育校**
 - 大分市立賀来小中学校
- 中学校**
 - 大分市立判田中学校
 - 大分市立植田東中学校
 - 大分市立上野ヶ丘中学校
 - 別府市立青山中学校
 - 日出町立日出中学校
- 高等学校**
 - 大分県立大分豊高等学校
- 附属校園**
 - 教育学部附属幼稚園
 - 教育学部附属小学校
 - 教育学部附属中学校
 - 教育学部附属特別支援学校



教職大学院の特色

Point 実践に即した授業方法で専門的力を高める

教職大学院のカリキュラムは、「共通科目」、「コース科目」、「実習科目」で構成されています。「共通科目」と「コース科目」は、グループ討議やワークショップなどの演習形式を取り入れ、具体例に基づいた事例分析やデータ分析を行います。

Point 学部卒院生と現職院生の学び合い

「共通科目」では、「学部卒院生」と現職教員である「現職院生」が一緒に学び合うことで、実際の学校現場のような協働的な教育研究の場が創られることが期待されます。経験の浅い院生は経験豊富な現職院生と共に学ぶことで実践力を高めることができます。現職院生にとっては、学部卒院生と共に学ぶことで、メンタリングを体験でき、研究的な刺激を受けることができます。

Point 12名の専任教員による充実の指導体制

教職大学院の授業は、教育実践や学校経営などの分野で理論的・実践的な研究を進めている「研究者教員」と、大分県下で現職教員の指導で活躍している教員経験者や先進的な学校経営を行っていた校長経験者などの「実務家教員」との協働で行われています。

Point 研究を通して現任校の課題解決に取り組む

教職大学院では2年間の学修の集大成として「教育実践研究報告書」をまとめます。現職院生は、現任校が抱える教育・研究上の課題に即したテーマを設定し、研究に取り組みます。2年間の学修・研究を通して、院生自身の専門的力を高めるとともに、現任校の課題解決(学校改善・授業改善)に取り組んでいきます。

現場で活躍する修了生の声

現職院生と学び合う中で、現場に即した授業づくりや学級経営の方法を学べます!

教職大学院では、現職院生の方々とディスカッションを行う講義が多く、現場に即した授業の作り方や学級経営の方法、保護者対応や児童の姿を知ることができます。また、現職の先生方と同じ院生室で過ごすので、模擬授業を構想したときに困ったところを質問でき、常に先輩教員に助言をもらえるような環境が整っています。

河野 聖羅さん
(平成30年度教育実践コース修了・大分市立賀来小中学校教諭)



長期にわたる実地研究で「授業をつくる力」が身につきました!

教職大学院の授業では、現場経験の豊富な現職院生の方々と一緒に、様々な教育課題や授業法について考え議論します。そのことを通じて、私は学部で培ってきた自分の「教育観」をさらに深めていくことができたと感じています。

また、教職大学院協会での実践研究発表など、自分の考えを発信する機会があったことで、同僚だけではなく外部の人に向けて「発信する力」もつけることができました。

大学院では学部時代に比べ、長期にわたる実地研究を行います。そのため「現場の課題」をより深く知ることもできます。研究の検証授業を行うことを通じて、1つの授業を見つめ直し作り上げる機会や、現場の先生方から自分に足りない授業の視点を教えていただく機会を得ることができ、「授業をつくる力」が身についたと実感しています。

細川 航平さん
(平成29年度教育実践コース修了・竹田市立祖峰小学校教諭)



自分が学校経営をする際の「拠り所」を得ることができました!

私は「校内研究・研修を通じた人材育成」をテーマに研究に取り組みました。教職大学院での学修を通して、自分が学校経営をする際の「拠り所」を得ることができたと感じています。教職大学院では教育を取り巻く最新の状況を把握しながら学校経営について考えることができます。また、学校経営の理論を学ぶことで、学校組織が抱えている問題を捉え、解決すべき課題を見いだし、問題解決を図るための「道筋」を考えることができます。

今後、管理職やミドルリーダーになられる方にとって、教職大学院は有益な学びの場だと実感しています。また、教員志望の学生や若手教員の方にとっては、経験豊かな現職院生と教材研究などを進められるため、現場での実践力が培われると感じています。

松本 俊也さん
(平成30年度学校経営コース修了・大分市立下郡小学校教頭)



教育実践研究報告書(2単位)